



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 北陸電話工事株式会社
 コード番号 1989 URL <http://www.hokuwa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 泰夫
 (氏名) 川面 正雄

上場取引所 東
 TEL 076-221-6116

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,036	12.6	151	△4.2	172	△6.0	93	16.5
25年3月期第2四半期	6,251	5.4	158	41.0	183	32.9	80	△29.4

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 94百万円 (26.4%) 25年3月期第2四半期 74百万円 (△23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.96	—
25年3月期第2四半期	9.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,732		5,569			57.2
25年3月期	9,953		5,541			55.5

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 5,565百万円 25年3月期 5,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,583	△0.8	358	3.3	387	△1.9	223	24.4	26.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,968,960 株	25年3月期	8,968,960 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	426,391 株	25年3月期	428,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,542,876 株	25年3月期2Q	8,542,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスの大胆な金融政策、機動的な財政政策及び民間投資を喚起する成長戦略により株価が上昇し、為替も円高修正が進み、家計・企業の両部門で所得から支出へという前向きな循環メカニズムが働くも、景気は緩やかに回復しつつあります。

情報通信分野においては、当社グループの主要な取引先である西日本電信電話株式会社（NTT西日本）におかれましては次世代ネットワーク・サービスである「フレッツ光ネクスト」の提供エリア拡大が進みつつあり、平成25年6月末での全国のブロードバンドサービス契約数は6,754万となり、そのうち光ファイバーは前年同期比145万増の2,429万となっております。ブロードバンドサービス全体に対する光ファイバーのシェアは、3.9世代移動通信システム（LTE）が急激に伸びている影響で前年同期54%から35%に減少していますが、固定系サービスとしては主流のサービスとなっております。今後、光ファイバーサービスと移動通信システムとはWi-Fi機能による協業サービスの進展が期待されます。

このような状況の中で、当第2四半期における当社グループの受注高は、NTT関連工事においてはフレッツ光ネクストの新たなエリア拡大があったものの工事の小規模化により減少し、民需では高速道路通信工事、LTE関連工事やCATV工事、情報系ではIPテレビ関連コンテンツやシステム開発の受注があり、さらには子会社の受注増があり、70億1千3百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

売上高は、NTT関連工事では減少しましたが、民需では高速道路通信工事、防災無線工事、新幹線通信設備工事、LTE関連工事や情報システム開発があり、さらには子会社の工事増もあり、70億3千6百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

利益面につきましては、当社グループとして生産性の向上とコスト改善施策を実施しましたが、NTT関連工事の小規模化や民需では工事増に外注で対応せざるを得なかったこと等により、営業利益は1億5千1百万円（前年同期比4.2%減）、経常利益は1億7千2百万円（前年同期比6.0%減）となり、四半期純利益は前年同期に計上した投資有価証券の評価損がなく9千3百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

単位:百万円

項目	当第2四半期	前年同期	増減額	増減率
受注高	7,013	6,741	271	4.0%
売上高	7,036	6,251	785	12.6%
営業利益	151	158	△6	△4.2%
経常利益	172	183	△11	△6.0%
四半期純利益	93	80	13	16.5%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千1百万円（2.2%）減少の97億3千2百万円となりました。主な要因は、有形固定資産6千1百万円の増加と現金預金1億9千7百万円及び受取手形・完成工事未収入金8千4百万円の減少であります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億4千9百万円（5.7%）減少の41億6千2百万円となりました。主な要因は、工事未払金3千7百万円、その他の流動負債1億3百万円及び退職給付引当金8千2百万円の減少であります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2千8百万円（0.5%）増加の55億6千9百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少の27億9千2百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1千9百万円（前第2四半期連結累計期間3千6百万円の増加）であり、その主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億7千万円による資金の増加と退職給付引当金の減少7千8百万円及び未成工事支出金の増加6千9百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、1億4千万円（前第2四半期連結累計期間1億8千万円の減少）であり、その主な要因は、有形固定資産の取得1億3千8百万円による資金の減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、8千1百万円（前第2四半期連結累計期間3千9百万円の減少）であり、その主な要因は、配当金の支払6千8百万円による資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,493,667	2,296,364
受取手形・完成工事未収入金	3,265,255	3,180,722
有価証券	555,902	556,053
未成工事支出金	47,552	98,632
材料貯蔵品	34,139	52,700
繰延税金資産	103,597	98,615
その他	154,334	117,327
貸倒引当金	△4,714	△4,319
流動資産合計	6,649,734	6,396,097
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	630,821	615,080
土地	1,139,744	1,139,744
その他(純額)	229,618	306,841
有形固定資産合計	2,000,184	2,061,666
無形固定資産		
投資その他の資産	10,256	9,126
投資その他の資産		
投資有価証券	534,063	549,317
長期貸付金	1,730	1,162
繰延税金資産	724,650	681,270
その他	36,415	33,484
貸倒引当金	△3,717	—
投資その他の資産合計	1,293,141	1,265,234
固定資産合計	3,303,582	3,336,027
資産合計	9,953,317	9,732,124
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,269,595	1,231,743
短期借入金	33,520	23,772
未払法人税等	39,124	50,945
賞与引当金	179,168	167,841
完成工事補償引当金	9,767	10,149
工事損失引当金	470	470
その他	731,445	627,946
流動負債合計	2,263,091	2,112,869
固定負債		
長期借入金	32,622	29,766
退職給付引当金	1,790,271	1,708,126
役員退職慰労引当金	142,758	146,356
負ののれん	19,583	18,309
長期未払金	153,183	137,415
その他	10,010	9,346
固定負債合計	2,148,429	2,049,320
負債合計	4,411,520	4,162,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,000	611,000
資本剰余金	329,364	329,364
利益剰余金	4,654,147	4,679,147
自己株式	△91,115	△88,644
株主資本合計	5,503,397	5,530,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,256	34,135
その他の包括利益累計額合計	22,256	34,135
少数株主持分	16,143	4,931
純資産合計	5,541,796	5,569,934
負債純資産合計	9,953,317	9,732,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
完成工事高	6,251,117	7,036,489
完成工事原価	5,394,261	6,169,754
完成工事総利益	856,855	866,735
販売費及び一般管理費	698,532	715,053
営業利益	158,323	151,682
営業外収益		
受取利息	762	646
受取配当金	6,250	7,964
受取地代家賃	5,088	728
持分法による投資利益	4,884	1,519
その他	10,266	10,054
営業外収益合計	27,252	20,914
営業外費用		
支払利息	235	377
手形売却損	22	111
その他	2,145	—
営業外費用合計	2,403	489
経常利益	183,171	172,107
特別利益		
固定資産売却益	1,429	272
負ののれん発生益	1,506	—
特別利益合計	2,935	272
特別損失		
固定資産除却損	4,209	278
投資有価証券売却損	—	2,099
投資有価証券評価損	57,006	—
特別損失合計	61,216	2,377
税金等調整前四半期純利益	124,891	170,002
法人税、住民税及び事業税	33,095	45,766
法人税等調整額	30,467	41,848
法人税等合計	63,562	87,614
少数株主損益調整前四半期純利益	61,328	82,387
少数株主損失(△)	△18,987	△11,211
四半期純利益	80,315	93,599

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,328	82,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,249	11,878
その他の包括利益合計	13,249	11,878
四半期包括利益	74,577	94,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,564	105,478
少数株主に係る四半期包括利益	△18,987	△11,211

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	124,891	170,002
減価償却費	68,979	80,152
負ののれん償却額	△1,273	△1,273
負ののれん発生益	△1,506	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,061	△4,111
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,867	△11,326
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△156,956	△78,546
その他の引当金の増減額 (△は減少)	112	382
受取利息及び受取配当金	△7,013	△8,611
支払利息	235	377
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	2,099
投資有価証券評価損益 (△は益)	57,006	—
持分法による投資損益 (△は益)	△4,884	△1,519
その他の損益 (△は益)	2,852	79
売上債権の増減額 (△は増加)	183,828	88,249
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△92,324	△69,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51,174	△37,851
その他の資産の増減額 (△は増加)	△21,281	38,743
その他の負債の増減額 (△は減少)	△25,593	△123,430
小計	59,089	43,772
利息及び配当金の受取額	9,040	10,618
利息の支払額	△259	△403
法人税等の支払額	△31,869	△34,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,000	19,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△37,751	△4,603
有形固定資産の取得による支出	△134,807	△138,891
有形固定資産の売却による収入	1,438	408
無形固定資産の取得による支出	△401	—
関係会社株式の売却による収入	—	3,016
短期貸付金の増減額 (△は増加)	150	60
長期貸付金の回収による収入	719	568
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,842	—
その他	△13,142	△785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180,952	△140,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,856	△8,428
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,342	△4,176
自己株式の取得による支出	△217	△263
配当金の支払額	△68,366	△68,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,069	△81,214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△184,021	△201,755
現金及び現金同等物の期首残高	3,343,694	2,994,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,159,672	2,792,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。